

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願 2003-033796
起案日	平成19年 4月17日
特許庁審査官	加賀 直人 9843 4S00
特許出願人代理人	小栗 昌平 (外 4名) 様
適用条文	第29条第1項、第29条第2項、第36条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

1. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において、頒布された下記 of 刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明であるから、特許法第29条第1項第3号に該当し、特許を受けることができない。

2. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前に日本国内又は外国において頒布された下記 of 刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

3. この出願は、発明の詳細な説明の記載が下記の点で、特許法第36条第4項に規定する要件を満たしていない。

4. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第1号に規定する要件を満たしていない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

理由1、2について

・請求項1-3, 5 ・文献1

文献1には、トリアセチルセルロースを含むフィルムベースに対し、特定溶剤を含む塗着組成物を塗布し乾燥させる発明に関し、塗布後10秒に乾燥処理を開始する旨、加熱ゾーンでの手段が本願発明と同等の手法である旨の記載があることからすると、文献1に記載の手法も、塗布後30秒以内に塗布膜面の残留溶剤

量が対バインダー量比で30%以下となる場合を含むもの認められることからすると、上記請求項にかかる発明は実質的に文献1に記載された発明である。

また、上記文献に周知慣用技術を付加することも当業者において容易になし得ることである。

理由2について

・請求項1-5 ・文献1-3

文献2, 3に記載のような、周知の乾燥手法を文献1に記載の乾燥手法とすることは、当業者において容易になし得ることである。

理由3について

本願当初明細書中に記載の比較例4は本願請求項1, 5にかかる発明の実施例に該当すると認められるため、該例を比較例と記載することは不適切である。また、上記のとおり、本願発明は明らかに本願発明の効果を奏し得ない部分を含んでいることからすると、この出願の発明の詳細な説明は、当業者が上記請求項に係る発明を実施することができる程度に明確かつ十分に記載されていない。

なお、上記指摘に対し、請求項を適切に補正することなく、上記例を削除する補正をしたとしても、本願当初明細書中に上記例に該当する本願発明が実施可能に記載されていない場合は、拒絶理由が解消されていないことを確認されたい。

理由4について

本願発明は、トリアセチルセルロースが特定の溶剤を用いた場合に溶剤を吸収することから、特定の時間設定をすることで本願発明の効果を奏しうる発明であると認められるところ、本願請求項1では、「揮発性溶剤」と規定しており、全ての溶剤は揮発性を有すると認められることからすると、上記特定の溶剤にかかる発明に関する本願発明をいかなる技術的思想の基全ての溶剤にまでその範囲を拡張可能かが不明であり、また、本願発明に含まれてしまう技術範囲のすべてにおいて同程度の効果が期待できるかも不明である。

よって、この出願の発明の詳細な説明は、当業者が本願発明を実施することができる程度に明確かつ十分に記載されていない。

引用文献等一覧

1. 特開2000-086786号公報
2. 特開平10-312054号公報
3. 特開昭53-055217号公報

・調査した分野 I P C B O 5 D 3 / 0 2

この先行技術文献調査結果の記録は拒絶理由を構成するものではありません。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許庁 特許審査第三部 プラスチック工学（繊維・積層） 加賀直人

TEL. 03-3581-1101(内線 3473) FAX. 03(3501)0698